令和５年度　学校経営方針

昭島市立中神小学校長　松　井　　茂

１ 経営の基本方針

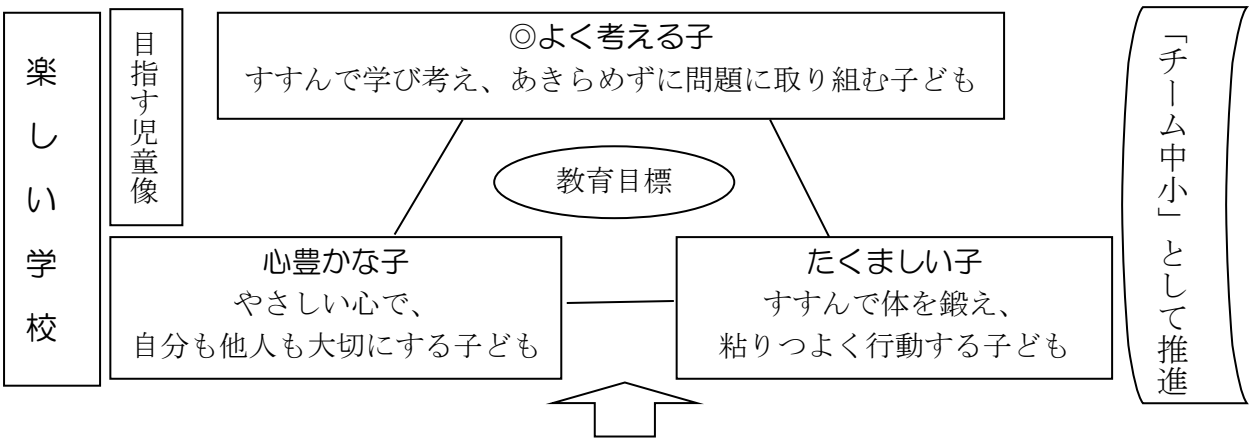
◇ はじめに

・義務教育の目的は、個々の児童の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことです。

・市立学校として、保護者・市民から子どもの指導・育成を信託されると共に、学校の施設は、教育活動を中心とした地域コミュニティの場です。「地域の学校」として、学校・保護者・地域の三者が連携して「地域の子ども」である中神小の子どもたちの教育を進めていきます。

◇ 教育目標・目指す学校

東京都及び昭島市教育委員会の教育目標、昭島市教育振興基本計画を基に、持続可能な社会づくりに貢献する資質･能力を育むため、全教育活動にＳＤＧｓの目標を関連させ、楽しい学校づくり・「たくましい昭島っ子」の育成を目指します。そのために、人間尊重の精神を基調とし、生涯学習の視点に立って、知性と感性に富み、たくましく生きる人間性豊かな子どもの育成の実現を図ります。



全ての子どもの良さ･可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校
～郷土中神とのつながりを重視した教育活動～

○学習指導要領に基づく教育活動の展開

・理念の理解とその実現のための「主体的･対話的で深い学び」を視点とする授業改善
・教育の質の転換「指導」から「学び」へ
・通知表「あゆみ」を含め、学習評価の充実「何が身に付いたか」
・各教科等ならではの「見方・考え方」や学習と社会をつなぐことができたり、人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができたりするための教師の専門性を発揮

○信頼される学校づくり

・子どもが主役：明日も来たい、学校・友達・先生・地域が好き、自己発揮できる、自分も他人も良さが分かる、自信がもてる、相談ができる
・保護者・地域の願いを叶える：安心できる、任せられる、様子が分かる、協力したい、相談しやすい、地域に根差している
・教職員が信頼を力として高め合う：より良い学校づくりに力を発揮できる、安心・安全な学校づくりができる、子どもたちの成長が実感できる、危機管理に全員で取り組む、得意なことや持ち味･強みを生かしてチーム力が高まる、ライフワークバランスと自己研鑽を自己決定できる

２ 今年度の取組目標

（１）「か」･･･かかわりと感動を大切にした教育の充実

（自尊感情･自己有用感の更なる向上）

＜人とのかかわり＞

① **協力し合えて・みんなの役に立てて楽しいと思える特別活動（学校行事、縦割り班、集会、学級活動等）の充実**
キャリアルバムなどを活用し、事前･事後の指導を含め、自発的・自治的な活動の工夫や共に創り上げる喜びを体験させることを通して、友達と協力することの大切さや達成感を味合わせたり、役に立って楽しいと思わせたりし、自己の成長を感じられるようにすることともに、良い学校･学級を築こうとする能力や態度を育みます。

② **多様性を認め合う人権尊重教育**
オリンピック・パラリンピックでのレガシーを取り入れ、道徳教育との関連を図りながら全学年において**障害者理解を進めることで、積極的にかかわろうとしたり自分も他人も大切にしたりしようとする心を醸成**します。

③ **ＩＣＴとの積極的なかかわりから将来必要な力を身に付ける**
コンピューターなどのＩＣＴ機器やデジタル教科書を活用し、**情報活用能力や情報モラルの充実**を図ります。また、プログラミング教育を計画的に行うことで、**諦めずに試行しながらより良いものを見付けようとするなどのプログラミング的思考の育成**に努めます。
一人１台のタブレットを活用し、情報収集・共有、活用、発信するなど学習のツールとして使用することで学力の定着を図ります。

④ **コミュニケーション能力の育成**
クラスルームイングリッシュを意図的に使用するなど、外国語を用いて**コミュニケーションを図る楽しさを味わい、積極的に表現しようとする態度を育成**したり、国際理解教育を通して外国の文化を知り共感的態度を育成したりしていきます。

⑤ **自己表現の充実**
ＭＣや詩の暗唱朝会の工夫と**日常の授業で良い話し手・聴き手**になるよう意図的に指導することで意欲的に発表したり、良さを聴こうとしたりする態度を育成することで自尊感情の向上を図ります。

＜自然や郷土とのかかわり＞

① 一人一鉢・学級園・田んぼを活用し、自然観察や体験的な学習を通して、自然や人々とのかかわりを深め、**自然やいのちを大切にしようとする心情**を育みます。

② **ＳＤＧｓ**を実社会・実生活を見る窓として捉え、**自立心・判断力・責任感等の人間性や他者及び自然環境との関係性を認識できる**ような活動をしていきます。
＊小学校で身に付ける力：世界へ目を向け、問題を発見する力
必要な情報を自ら調べ選択する力
正解のない問題に立ち向かう力

③ **校内研究「結育」～地域の「こと・もの・ひと」とつながる生活科・総合的な学習の時間～を中心**に、教育ボランティア等、地域人材を活用し、その専門性を生かした体験的・感動的な学習活動を推進します。

④ 子どもの安全や学校の環境整備に協力していただけるボランティアとして、あいさつ･見守り活動や図書館の整備･読み聞かせなどしていただける方を募り、地域とともにある学校に努めます。

⑤ **地域の自然、伝統文化及び技術等を教育活動に積極的に取り入れ**、アキシマエンシスなどの地域を素材とした学習を展開し**郷土昭島に対する愛着や誇りを育て**ます。

⑥ 月１回の保護者を中心とした朝のあいさつ運動、春と秋の地域の方の朝の見守り活

動、ウイズユースの方との連携を図り、地域の子どもは地域で育てる基盤を築いていきます。

＜教職員＞

① **人権感覚を磨き、自身の言動が子どもの範となる**ことを自覚し、ＴＰＯに応じた服装・言葉遣い・言動に留意しながら、日頃から子どもたちの自尊感情が高まる指導を行います。

② **ユニバーサルデザインと中神スタンダードに基づく、教室環境・授業づくり**を目指し、**全ての子どもたちにとって参加しやすい学級づくり**を行います。

③ 子どもたちが、**安心して誰にでも相談できる体制**づくりを構築します。

④ 事故やトラブル等の**報告・連絡・相談は迅速に**行い、**誠実とスピード感のある対応**に心がけ、特に**初期対応については細心の注意**を払います。

⑤ 学校公開や学校行事における教育活動の公開、掲示物等の工夫、諸たよりの発行、ホームページの活用等**学校の方針、子どもたちの成長等を積極的に発信**します。

（２）「し」・・・自分からすすんで行動できる子どもを育てる教育
（主体的・対話的で深い学び）

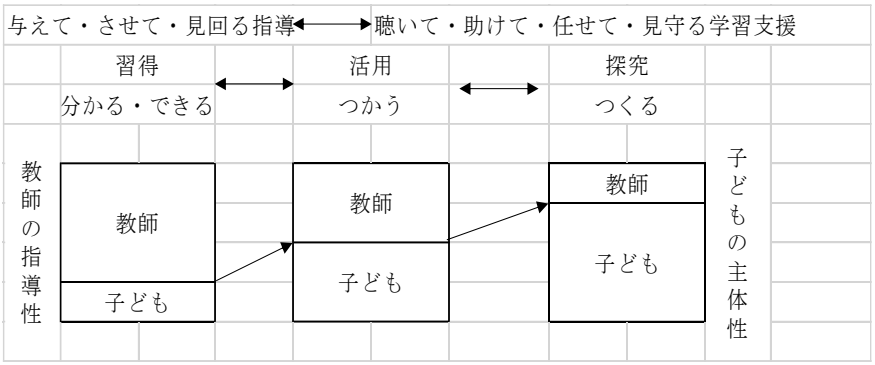
＜学習＞

① **課題解決的な学習展開による探究的な学びの重視**

・校内研究を軸に生活科・総合的な学習の時間において、カリキュラムマネジメントにより教科で習得した力や見方・考え方を発揮して主体的な学びを展開し、課題解決・問題解決に取り組みます。

・全ての教育活動を通じて思考力･判断力･表現力の向上を図ります。そのために、言語活動の充実、情報活用能力の育成、授業改善推進プランを基にした「分かるできる・楽しい」授業づくりに努めます。

・基礎的な知識・技能の習得とのバランスを取りながら、すすんで学び考え、あきらめずに問題に取り組む態度を養います。



② **授業終わりの５分間で個々の学びの振り返り**

何を学んだか、何ができるようになったかを確認し、学習の定着を図ります。

③ **プログラミング的思考の育成**

年間指導計画に基づき各教科等の学習の中で取り入れます。またプログラミングを体験することを通して論理的思考力を身に付け情報活用能力の育成を図ります。

④ **基礎的な知識・技能の定着**

・**朝の時間**は、読書指導及び言語活動指導やくじラーニングを計画的・有効的に活用したり、音読など毎日の宿題の工夫をしたりしながら定着を図ります。

・放課後・土曜日の補習教室や夏季休業中の補習を活用したり、タブレットを毎日持ち帰ることでくじラーニングなどを活用したりすることで家庭学習の習慣化を図ります。

⑤ 東京ベーシックドリルなどの活用を図り、個の学びに応じた少人数指導体制のより一層の充実と問題解決型学習の積極的導入をします。

⑥ 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善を行います。
⑦ 様々な指導を通し、**各学年の定着率８０%以上**を目指します。年度末の３月に、全学年で該当学年の東京ベーシックドリルのテストを活用し定着を確認します。

＜生活＞

① 集団生活をする上での基礎となる「**安全・あいさつ･後片付け**」を全学年で身に付けます。
② 「**オ（おはようございます：気持ちのよい挨拶）ア（ありがとうございます：感謝の心）シ（失礼します：譲り合いの心）ス（すみません：謝る心と感謝の心)**」のあいさつの習慣化や廊下歩行を中心に**規範意識を育てる**指導を組織的、計画的に進めます。
③ **生活目標を週ごとにスモールステップで具体的に目標を設定し、週末に振り返る**ことなどから、より良い学校生活を送る態度を育成します。また、**６年生が手本を示す学年**として育てます。(各学級の具体的目標の自己評価を活かす)
④ **道徳教育は心を育てる要**
学習指導要領を基に道徳教育推進教師を中心として、保護者・地域の協力・理解を得ながら全校体制で取り組んでいきます。その中で、道徳的心情を培い、自ら実践しようとする道徳的態度を育成します。
⑤ 清掃活動を丁寧に行い、自分たちの学校をきれいにしようとする態度を育成します。

（３）「こ」・・・言葉やコミュニケーションを大切にし、思いやりの心を醸成する教育（笑顔溢れる）

〇多様性を理解し尊重する豊かな心を育成

① **命の教育の推進**
・人権尊重の精神に基づき、**学期に１回はいじめにかかわる授業**を行い、**いじめは絶対にしない・させない態度**を身に付け、いじめのない学級、学校を作り毎日楽しく安心して登校できるようにします。
・あらゆる差別と偏見を許さない人権尊重教育を推進します。また、新型コロナウイルスについて理解し、そのことからいじめにつながらないようにします。
・生活科、飼育栽培活動を通して、**命を大切にする態度や心情**を育てます。
・「昭島市立中神小学校いじめ防止等のための基本方針」に基づき、アンケート調査や学級満足度調査などを活用し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を組織的に取り組んだり、スクールカウンセラーの相談をしやくしたりします。
② 「**ふわふわ言葉･ちくちく言葉**」を理解し、互いに認め合い、尊重する言葉遣い・呼び方をするなど**より良い人間関係を築く言語環境**を整えます。
③ 朝読書や読み聞かせ、図書館を活用したり、読書カードや表彰したりしながら、子どもたちが**すすんで読書する態度**を育みます。
④ 図書の時間において**子どもの実態に応じた読書指導**を行い、様々な分野の本に興味をもてるようにします。
⑤ **辞書や辞典を活用**し言葉や事象に興味をもたせるようにします。
⑥ 全ての教育活動を通して言語活動の充実を図り**語彙力、話す力・書く力を付ける**とともに、卒業文集が小学校の集大成となるよう１年生から育成していきます。
⑦ 俳句大会やお薦めの本の紹介をする活動及び毎月の詩の暗唱を意図的に計画し**言葉への興味・関心**を高めます。
⑧ 意図的・計画的に授業の中で自分の考えをまとめ、それを発表したり聞いたり意見を交流したりする活動を取り入れ、**良い話し手・聴き手**を育てます。

（４）「い」・・・いつも元気で心身ともに健康な子どもを育てる教育
（心も体も弾んで）

〇総合的な体力向上と日常的な健康教育の重視

めあてをもって努力する気持ちや力を合わせて困難を乗り越え達成を目指すたくましい心を育み、運動や運動遊びの楽しさが実感できるようにします。

① **「元気アップガイドブック」「グッドモーニング６０分」**の取り組みや体育的行事等の充実、「笑顔の日」や**普段の休み時間に全員外に出て遊ぶ**ことをしながら体を動かす習慣を身に付け体力向上を図ります（配慮が必要な子どもは除く）。

② 子どもたちの実態から**「中神サーキット」**を工夫･改善・活用し、体つくり運動を計画的に指導することで**多様な動きを経験**させ、体の調子を整えたり、基本的な動きを身に付けさせたりします。

③ 一校一取組や持久走などの取組から、**楽しみながら自己の目標に向けて挑戦する態度**を育み体力向上を図ります。

④ 給食指導や栄養教諭の活用を通して食育指導の充実を図りながら、**「もったいない」という意識**を子どもたちの発達段階に合わせて指導し、残菜が少しでも減るような取組をします。

⑤ お弁当の日や学校保健委員会を通して家庭との連携を図ったりすることで、心身ともに健康な子どもを育成します。

⑥ 新型コロナ感染症についての正しい知識を得たり、**様々な危険に対する安全指導**を行ったりすることで、**子ども一人一人が自分の身は自分で守る**ことができる態度を身に付けさせます。保護者・地域の方々と連携し、身の回りに潜む危険について多くの目で見守ります。

⑦ **体育指導の工夫・改善**を図ったり、「体力･運動能力、生活･運動習慣等調査結果」を基にしたりしながら、自己の体力を知り、向上させようとする態度を育成します。これらのことを通して、**困難や不安に負けない強い心**を育てていきます。

（５）「チーム中小」として、教職員の集団づくり

〇子どもにとっての最大の教育環境は教師自身である

① 校長の経営方針に基づき、全教職員による経営参画意識と校務支援ソフトの活用や組織として効率化を図り、主幹教諭・主任教諭・教諭・養護教諭の職層に応じた役割を果たすとともに教育効果を発揮できるよう努めます。

② **教師としてのプライド**

・指導力、学級・専科経営力を向上させるために、学年組織、分掌組織、校内研究・研修を工夫したＯＪＴに努めます。

・教職員研修センターなどの研修を受け自己の研究・修養に努め、職層、職歴に応じた指導力を身に付けます。研修した内容について校内に還元し、教えることが楽しくなる授業改善と教材や指導方法の共有化を図り、学校全体の教育力を伸ばしていきます。

③ インクルーシブ教育を推進するために、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の機能を充実し、四つ葉教室との連携を密に情報交換を図かりながら**四つ葉教室での指導を在籍学級でも継続**したりしながら組織的・計画的な支援を行います。

④ **全教職員体制で共通した指導**が行えるよう、報告・連絡・相談・記録体制を充実するとともに、保護者・地域と迅速に対応できるように努めます。

⑤ 教員、事務員、用務員、支援員、給食配置員、学校管理員**全ての職員が良好なコミュニケーション**を図るためにも「オアシス」を実践します。

⑥ **自らの健康管理、自己改革に努める**

・心身の健康は充実した教育活動の基盤であるため、メリハリのある仕事、規則正しい生活に心がけます。
・温かい言葉、温かい視線、さりげない心遣いなど、居心地の良い環境を共有します。
・人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法など自己啓発に努め、質の高い教育の基盤をつくります。
・仕事と生活の調和の実現を目指し、意識改革と校務改善を図り、家族・友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などの確保に努めます。